

京都府市町村体制づくり支援交付金 自己評価調書

団体名

南丹市

2. 平成29年度 京都府市町村体制づくり支援交付金事業の個別評価について

支援区分		事業名・実施項目							
公共施設マネジメント		社会教育施設改修事業							
事業着手前									
課題・現状	市民の日常的な生涯学習の場である社会教育施設の老朽化により安全・安心な利用が確保できず、また経年劣化による修繕費の増大など維持管理費が市の財政を圧迫している								
事業概要	本市所有の社会教育施設について、長寿命化改修に向けて、耐震補強計画の作成								
期待される事業効果等	市民が安心・安全に施設を使用することで、市の生涯学習の更なる推進と、今後の財政負担の軽減や平準化を図る								
事業実績									
取組状況	南丹市園部公民館の長寿命化改修に向けて、耐震補強に係る部分について、計画策定を行い、判定機関の合否を得ることができた。								
主な実績数値 (出来高数値等)	国が定める構造耐震指標(Is値)が、「大規模な地震に対して倒壊や崩壊の危険性が低い」とされる0.6以上を確保								
期待される事業効果等 に対する達成状況	○	(左の理由)		大規模改修のうち耐震補強に係る部分について安心・安全面について、第三者機関の判定機関による、科学的な保証を得ることができた					
事業効果									
事業効果の考え方	現有施設の長寿命化(改修)や機能集約をすることにより、市民が安心・安全に施設を使用することで、市の生涯学習の更なる推進や、今後の財政負担の軽減や平準化を図ることができた。								
年度	H29	H30	H31	H32	H33				
行革前(a)	0	40,986	40,986	40,986	40,986				
行革後(b)	0	25,616	25,616	25,616	25,616				
効果(a)-(b)	0	15,370	15,370	15,370	15,370				

(記載要領)

単位:千円

1 事業毎に調書を作成すること

2 「期待される事業効果等に対する達成状況」については、期待される効果を上回ったときは◎、概ね期待どおりの効果であるときは○、期待される効果を下回ったときは▲を記載すること。